

# ガバナー月信

vol.03 2024.09



8月2日、長岡花火会場近くで帰省中の2人のお孫さんと。後ろは長生橋

## 月信9月号

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| ① ガバナーメッセージ             | ⑦ 地区ラーニング委員会       |
| ② 新井妙高 RAC 創立 50 周年記念式典 | ⑧ 財団委員会通信          |
| ③ インターアクト年次大会           | ⑨ 地区主要行事予定(9月・10月) |
| ④ 青少年交換研修会              | ⑩ 新入会員紹介・訃報        |
| ⑤ 大学担当者向け米山制度説明会        | ⑪ コーディネーターニュース     |
| ⑥ ガバナー公式訪問報告            | ⑫ ハイライトよねやま        |



国際ロータリー第 2560 地区  
2024-25 年度

**南雲ガバナー事務所**

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574  
ホテルイタリア軒 B1  
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



## ガバナーメッセージ

2024-25 年度 ガバナー

南雲 博文 (長岡 RC)

新たな年度が7月1日にスタートし、早1か月半が経過しようとしております。お盆休みに入り活動もちょっと一休みでペンをとっています。

各委員会も、新年度の方針を携えセミナーを逐次開催し活動が始まりました。

まさに、ジェットコースターはスタートし、ゴールに向かって走り始め、頼もしさを感じております。ラーニング委員会は2年目になりますが、すでに室賀年度のガバナー補佐の研修会が開催され準備に入りました。今はもちろん大事ですが、留まることなく先進性をもって対応することが、継続に繋がると思っております。ラーニング委員会の活躍で、2560地区のロータリーへの理解度が深まり、クラブの活性化に繋がっていくことを期待したいと思います。

南雲年度の公式訪問も7月17日の新潟南クラブをスタートとして、佐渡地区を含め8月6日の歴史と伝統のある新潟クラブで10クラブを訪問させていただきました。

スタートが2560地区で一番の会員数が多い113名の「新潟南クラブ」ということで、緊張感の中で訪問致しましたが、大変暖かく迎えてもらい、いろいろご指導もいただき、いいスタートを切らせていただき感謝しております。その足で翌日には、佐渡に渡り佐渡・佐渡南クラブの公式訪問でした。失礼ながら旅行気分半分で、楽しみにしていましたが、まず佐渡クラブに伺い、一人休まれて会長を含めて3人と事務の方から迎えていただきました。かつて55人を誇った創立54年の名門クラブが4名ということで、経緯もお聞きし納得とショックで言葉も出ませんでした。会長はじめ会員の方の前向きな考え方をお聞きし感動すら覚えました。何とかできないか、いや復活すべきであると、その思いが頭から離れませんでした。そのあと佐渡南クラブへの訪問です。会員38名で若い人も多く、会員数も伸びており活気もありました。夜は佐渡クラブとの合同で懇親会を行っていただきました。

山崎ガバナー補佐の応援団が新潟から駆けつけてくれまして、佐渡クラブも含め楽しい親睦の場となりました。

佐渡南の会長は、今後連携できる場所はすべきであると、強く感じたとお話がありました。

山崎ガバナー補佐も、第2分区として、また2560地区としてできることがあるのではないかと言われましたが、私も同感です。訪問時はまだ世界遺産登録決定前でしたが、帰りの両津港で世界遺産登録になれば道が開けるのではないかと思いますしながらジェットフォイルに乗りました。

今回は、公式訪問が始まって感じたことの一部をお話しさせていただきました。



## 新井妙高ローターアクトクラブ 創立 50 周年記念式典のお礼

新井妙高ローターアクトクラブ  
会長  
鴨井 朋康

7月27日（土曜日）、デュオセレッソにて新井妙高ローターアクトクラブ創立50周年記念式典を開催させていただきました。ご来賓並びにロータリークラブの皆様、OB・OGの皆様、ローターアクトクラブの皆様より多数ご出席を賜りました。改めて厚く御礼申し上げます。

本式典を開催するにあたり1年程前から準備を進めて参りました。式典準備にあたり、提唱クラブであります新井妙高ロータリークラブ様より大変ご尽力をいただきました。また、近隣のローターアクトクラブの方たちからも協力をいただき準備を行って参りました。式典終了後にはたくさんの方から「よい式典だった」とありがたいお言葉を頂戴しました。ですが、私たちがこうしたお言葉をいただけるのは自分たちだけの力ではなく、支えていただいた皆様のお力添えあってのものであるということをお忘れしてはならないことです。今後は、いただいたご恩をお返しできるような様々な活動に邁進して参ります。

当日は、歴代会長表彰や記念事業で行った妙高観光ガイドブック作成発表、オリンピック銅メダリストの富田せな選手による基調講演といったスケジュールで執り行わせていただきました。プログラム全体で時間の配分において皆様にご迷惑をおかけするといった反省点もございましたが、先述しましたようにお褒めの言葉をたくさんいただきました。本式典を通してたくさんの方の成長を応援させていただきます。

結びとなりますが、当日ご参加いただいた全てのみなさまに感謝を申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。





## インターアクト年次大会を終えて

インターアクト委員会  
委員長

**本田 保** (新発田中央 RC)

この度のインターアクト年次大会のテーマは『自衛隊に学ぶ公助と私たちにできる自助』ということで、自衛隊新発田駐屯地様の御協力のもと、防災に関する研修を行いました。災害救助における器具の使用法、実践方法、自衛隊の歴史に至るまで、様々な発見があった中で、災害時や緊急事態における公助の重要性について、体験談を交え具体的な事例を説明いただきました。その献身的な活動や迅速な対応力に深く感銘を受け、公助の重要性とその役割の大きさを改めて認識することができました。

自衛隊新発田駐屯地での研修を通じてグループワークを行い、『もし自分が被災者だったら』というテーマのもと、改めて自助の意識を高めることができました。自分たちがどのように備えるべきか、緊急時にどのような行動をとるべきかを具体的に学び、日常生活で実践できる自助の方法を皆で話し合い、学ぶことができました。

自衛隊の方々のお話や、グループワークで仲間たちとの意見交換を行うことで、「自分たちも何かの力になりたい」という強い気持ちが芽生え、日常生活での備えや、インターアクトクラブとしての地域貢献活動に対するモチベーションが一層高まったように思いました。また、他校のインターアクター同志のグループワークの機会でも、同じ志を持つ人々と出会い、意見交換や情報共有が出来たこと、そして新しい友人や将来の協力者と繋がることは大変有意義なことであると、皆さんの活動を拝見し、改めて実感できました。

こういった、イベントやアクティビティを通じた交流や活動が、自分自身の成長やクラブ活動の発展に繋がることで、新しい発見と輝きを見出すことで、とてつもないパワーを生み出し、全てのエネルギーに変わる事に繋がります。

この度の年次大会を通じ、防災に対する意識が高まり、インターアクターの皆様における今後の大切な発展の糧になることを心から願っております。

結びに、国際ロータリー第 2560 地区 2024-25 年度インターアクト年次大会において、大会運営にご尽力頂きました新発田中央高等学校インターアクトクラブの皆様を始め、顧問の長谷川先生、上山校長先生、各高校のインターアクトクラブの皆様、顧問の先生、各提唱クラブの皆様、多くのロータリアンの皆様に心より感謝を申し上げます。

ご協力いただきました各企業の皆様、研修にご協力頂きました、陸上自衛隊新発田駐屯地の皆様、全ての皆様に心から感謝申し上げます御礼のご挨拶とさせていただきます。

参加人数：インターアクター 76 名、顧問教師 10 名、ロータリアン 48 名 計 134 名





## 青少年交換研修会

青少年交換委員会  
副委員長

市川 真紀 (高田東 RC)

2024-25年度の交換がいよいよスタートいたしました。

昨年度より、4回のオリエンテーションを行い、準備を進めて参りました。

短期受入学生は7月上旬から7月下旬まで来日し、短期派遣学生は8月上旬から8月下旬まで各国へ派遣されます。

長期受入学生は8月中旬から約1年間、日本で生活をいたします。長期派遣学生は8月上旬より各国で1年間の派遣をスタートさせています。

去る、7月22日・23日に短期受入学生の研修会を実施いたしました。例年、東京への研修会でしたが、2560地区をより多く知って欲しいとの思いから昨年度より、佐渡への研修会に変更いたしました。

新潟港からはドイツからの学生1名、直江津港からはドイツからの学生2名とカナダからの学生1名、ROTEX1名が参加いたしました。

1日目は西三川ゴールドパーク、妙宣寺、鼓動の練習見学、宿根木散策、たらい舟体験。2日目は佐渡金山、佐渡奉行所、北沢浮遊選鉱場跡、トキの森公園と盛りだくさんの見学となりました。2日目には佐渡南ロータリークラブの例会にも参加させて頂き、4人とも素晴らしい挨拶をしてくださいました。佐渡の素晴らしい景色を見ることができ、多くの歴史を学習できたと、非常に喜んでいました。

現在、次々に来日している長期受入学生にも、日本、新潟県の素晴らしさをより多く知って貰い、無事に1年間を終えていただきたいと思っております。

今後とも青少年交換事業にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。





## 2025 学年度米山記念奨学制度 説明会

奨学生選考委員会  
委員長

米山 光紀 (新潟南 RC)

2025 学年度の米山記念奨学制度説明会が 8 月 7 日 (水)、ホテルオークラ新潟にて県内 16 の大学・高専の担当者の方々をお招きし、開催されました。

はじめに、南雲ガバナーより、米山記念奨学制度の目的や特徴などを交えて開催の挨拶が行われ、米山記念奨学委員会の渡邊嘉子委員長より、奨学生の義務説明について、近年問題となっている奨学金の打ち切りや辞退といった事例を回避するため、学校側からも学内選考時の選考プロセスの確実性や奨学生になった後の適切な指導を要望いたしました。

その後、米山記念奨学事業を理解していただくために、パワーポイントを用いて、奨学事業の成り立ちや応募の手続きから選考プロセス、奨学生期間中の義務として毎月 1 回以上の世話クラブ例会への出席とレポート提出、各種事業への積極的な参加、奨学期間終了後の元奨学生の組織である学友会への参加などについて説明いたしました。

説明会の終了後には、参加各校から奨学生候補者選考方法を共有していただき、他校の取り組みを参考に米山記念奨学制度への候補者推薦を行っていただけるように働きかけました。参加者からは熱心な質問も寄せられ、非常に有意義な時間となりました。当委員会も、ロータリアンによって選考される学生たちを大切に、交流を通じて指導していく所存です。皆様におかれましても、温かくご指導賜りますようお願い申し上げます。同日米山記念奨学会より各校へ、募集要項などの資料配信が行われ、2025 学年度の米山記念奨学生募集が開始されました。今後とも、米山記念奨学事業へのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

### 奨学生選考スケジュール

- ・ 2024 年 10 月 15 日 応募締切
- ・ 2025 年 1 月 18 日 面接試験実施
- ・ 2025 年 1 月 ~ 2 月初旬 合否通知送付
- ・ 2025 年 3 月 1 日 合格者からの回答締切
- ・ 2025 年 4 月 19 日 オリエンテーション実施



## ガバナー公式訪問報告

### 新潟南 RC

会長 加藤 祐介

幹事 長崎 寿秀

会場：新潟グランドホテル

7月17日(水)新潟グランドホテルにてガバナー公式訪問が執行されました。11:00～クラブ協議会 12:30～公式訪問(例会セレモニー・ガバナー講話) 13:30 記念撮影 13:45～クラブ協議会 18:30～ガバナー歓迎懇親会と一日掛かりではありませんでしたが、南雲ガバナー以下、4名(山崎 AG、阿部地区幹事、高野地区副幹事)皆様、最後まで全てご出席賜りました。クラブ懇談会では当クラブが直面している問題や今後の課題を始め、当クラブ独自の会員増強方法、入会3年未満の退会者防止方法等を始め、渡辺 PG・山本 PG、会長エレクト、幹事エレクトを交え、当クラブの歴史を踏まえつつ活発な意見交流が例会ギリギリまでなされました。改めて当クラブの様々な問題点の色々再確認とその対処法などをガバナーと一緒に

再認識出来た非常に大きな収穫と実りある時間で有りました。例会では SAA を始め会員皆で盛大にお出迎えさせて頂き、有難い事にこの日、新会員3名を迎え、公式訪問の記念に南雲ガバナーよりネームプレート・バッジ等の贈呈をして頂きました。記念撮影後のクラブ協議会では各委員長による委員会方針・事業計画の報告がなされ、最後ガバナーより総括を頂きました。又、ガバナー歓迎懇親会では、理事役員メンバーと古町芸妓による、一番我々「新潟南 RC」らしい歓迎交流会がなされ、ガバナー以下皆様には一日掛かりで最後は大変お疲れの事と存じますが、当クラブにとっては非常に有難く貴重で有意義な時間をご一緒させて頂き誠に有難うございました。これから一年間どうぞ宜しくお願い致します。

新潟南 RC 幹事 長崎 寿秀



### 佐渡南 RC

会長 本間 寿正

幹事 池 泰弘

会場：Ryokan 浦島

7月18日(木)にガバナー公式訪問が行われました。懇談会では佐渡南ロータリークラブの現状、課題、特徴今年度の目標などについて、意見を交換しました。我々が公共イメージ向上の取組みとして毎年行っているものとして、①佐渡南ロータリークラブ旗争奪少年野球大会、②トビシマカンゾウの植栽保存事業(高校生とのコラボ)、の二つを紹介し、近年の単発的な活動として、③交通安全看板のリニューアル(小学生から標語を募集)、④佐渡の大自然の大判写真展「天野尚写真展 SADO」の開催、などを紹介しました。

その後、例会において南雲ガバナーからお話を頂きましたが、「毎日変化させよう。変えるものがなければ、机の上の物の位置でも変えよう。」という、とある創業者の方の言葉が紹

介され、心に残っています。RI会長のステファニーA. アーチック氏も「変化することで世界を変えていく」とおっしゃっており、その時々ステージに合わせた「変化」が私達に求められていると強く感じました。

夕方からは佐渡ロータリークラブさんと合同でガバナー歓迎懇親会を開催しました。第二分区山崎ガバナー補佐の応援団(会長幹事同期会)8名の方々も例会に引き続き参加して頂き、懇親会を大いに盛り上げてくれましたし、我がクラブからは佐渡おけさや相川音頭の生歌も飛び出し、楽しいひと時を過ごすことができました。我々の自慢である「和気あいあいとした、肩肘張らない雰囲気」を南雲ガバナーにも感じて頂けたのであれば幸いです。 佐渡南 RC 会長 本間 寿正





<b>新潟東 RC</b>	会長 保苺 玲子	幹事 薄田 豊
<b>新潟北 RC</b>	会長 當野 篤	幹事 金田 健宏
<b>新潟中央 RC</b>	会長 大田 陸介	幹事 茂岡 与士栄

会場： ANA クラウンプラザホテル新潟

7月30日にガバナー 公式訪問が3ロータリー 合同で行われました。合同訪問は初めての形式でまさしく Rotary magic でした。ガバナー事務所より、事前にアンケート用紙が来ていましたので当クラブの現状と悩みや目標など多種に渡り報告をすることができていました。合同訪問で各クラブの会員数や 年齢層でそれぞれ抱えている問題が違うことも分かりました。ですがどの問題も増員が一番の解決策だという方

向性は一緒でした。南雲ガバナーよりアドバイスを頂き、また他クラブの意見も聞くことができて大変有意義な時間でした。

その後、新潟北ロータリークラブさん主催の3ロータリー 合同例会と懇親会ではアトラクションにガバナーチームとして、南雲ガバナー、山崎ガバナー補佐、高野地区副幹事、小川地区副幹事も参加され、大いに盛り上がり楽しい時間となりました。

新潟東 RC 会長 保苺 玲子



【3RC 会長による点鐘】



【南雲ガバナーによるご講演】



【アトラクション: RC 対抗利き酒大会】



【優勝した新潟中央 RC の皆さん】

**新潟 RC** 会長 吉田 和弘 幹事 小林 慶直

会場： ホテルイタリア軒

2024年8月4日(火)、南雲博文ガバナー、高野裕、砂山雅人両地区副幹事、山崎勲ガバナー補佐をお迎えして新潟 RC のガバナー公式訪問を実施しました。

はじめに懇談会として意見交換を行いました。新潟 RC から会長、幹事、会長エレクト、バスターガバナー、地区事務所長が参加し、どのクラブでも問題となっている会員増強の取り組みについて、地区内でユニークな取り組みをしている事例があるか、また南雲ガバナーが掲げる「地区内・分区内のクラブ連携」について、どのような活動が行われているのか伺いました。

例会プログラム終了後、クラブ協議会での審議内容を元に、

南雲ガバナーから講話いただきました。クラブの運営については、事業計画がよく策定されており、それは伝統に基づいて、クラブ全体が強固に組織されていることが要因ではないかとお褒めの言葉をいただきました。

ガバナー訪問は、クラブにとって重要な行事です。ご多忙のなかお越しいただいた南雲ガバナーはじめ、皆様に感謝を申し上げます。今回ご指導いただいたことをきっかけとして、2560 地区のクラブが連携をし、「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」というテーマを実現できるようにクラブ運営に努めてまいります。

新潟 RC 会長 吉田 和弘





## 地区ラーニング委員会の体制が整ってきました

地区ラーニング委員会  
副委員長

渡邊 明紀 (新発田 RC)

南雲年後のガバナー月信にて、地区研修・協議会がファシリテーション形式で行われた事、そして室賀年度のガバナー補佐ラーニング・パート1が7月13日に実施された事が報告されましたが、今回は地区ラーニング委員会の体制が整ってきたことをご報告申し上げます。

地区ラーニング委員会は、高橋年度の地区運営改善検討委員会にて設置が提起され、準備委員会が設立されました。(当時の名称は地区研修準備委員会)その後、米山年度において、地区研修委員会が活動を開始し、研修内容を急ピッチで確立しつつ、南雲年度のガバナー補佐、地区チーム、クラブ会長幹事を対象に研修が行われました。

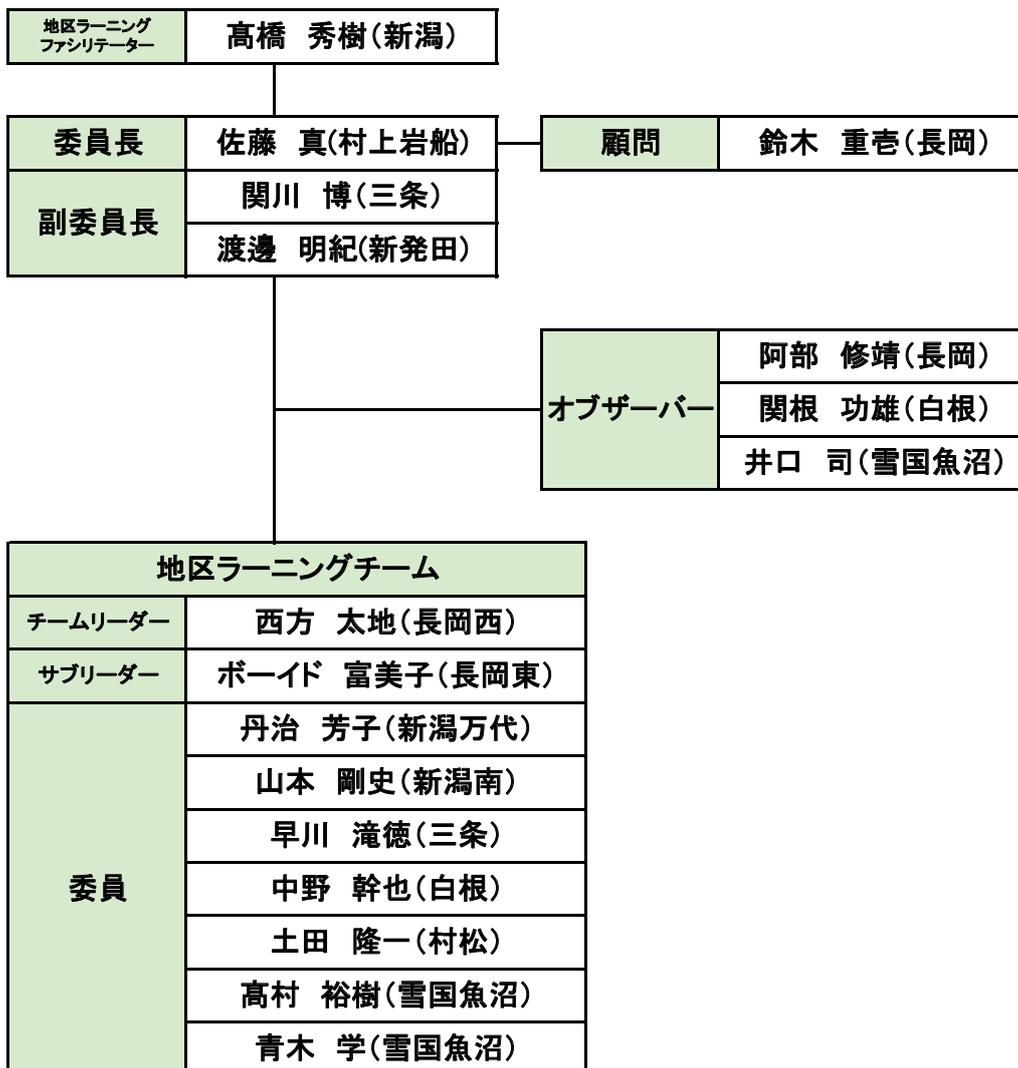
時を同じくして、国際ロータリーが、「研修」形式から「ラーニング」形式を強く奨励したことから、当地区でも研修委員会は、ラーニング委員会と名称を変更するとともに、「研修形式」を“事前学習”と“双方向コミュニケーション”を重視した「ラーニング形式」に変更してきました。今思えばスムーズな移行ができるのか？不安な面もありましたが、地区研修チーム各位の努力と、参加受講者のご理解・ご協力のおかげで杞憂に終わりました。当地区各位のポテンシャルを感じると共にご協力に感謝申し上げます。

そのように今後の当地区の発展・基盤整備に資する活動を始めたラーニング委員会ですが、南雲年度では室賀年度のメンバーに対してラーニングを行いながら、今後は理解と定着を図りつつ、活動を進化させていかななくてはなりません。つまり年度が進んでいっても変わらぬ活動を継続する必要があるのです。

具体的には、委員会任期が3年委員会であると認識を定着させることと、室賀年度(第3分区)富山年度(第6分区)から委員会スタッフを輩出していただき、活動の継続性を担保しなければなりません。幸い第3, 6分区のご理解をいただき、別表のとおり組織を構成することができました。両分区のご協力に感謝するとともに、これから年度が進んでいっても各ガバナー輩出分区のご理解をいただき継続していかななくてはなりません。

折角スタートした地区ラーニング委員会は、当地区における役割と存在意義が、今後益々重要になってくると思慮しております。多くの皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区ラーニング委員会 組織図





# 「世界でよいことをしよう」

## 財団委員会通信

—補助金で広がる豊かな世界・第1回ロータリー財団セミナーを開催—

財団委員会 副委員長 武田 真(水原 RC)

このたび7月27日(土)にANAクラウンプラザホテル新潟において地区財団委員会主催の「第1回ロータリー財団セミナー」が各クラブの財団委員長はじめ、ロータリーアクター会員出席のもと開催されました。最初に南雲ガバナーのご挨拶にはじまり、第1地域新保ARRFC、地区財団委員会の佐藤委員長より財団の概要説明、社会奉仕委員会の青木委員長よりご挨拶をいただきました。

前段においては、長岡 RC 様および高田 RC 様に対して高額寄付クラブへの感謝状および前年度において新規メジャードナーになられた高田 RC の高坂光一様に認証状をお渡しいたしました。その後、各クラブへの地区補助金支給決定通知書の授与を行い、いよいよ各クラブの本年度事業がスタートいたしました。

またセミナーでは、寄付資金ポリオプラス委員会の土田委員長より寄付目標、ロータリーカードの説明、そして事例発表では特別ゲストとして今年1月に高田 RC の高坂光一さんと共にパキスタンでポリオワクチン接種のボランティア活動に参加されたフリーアナウンサーの伊勢みずほさんから取組発表をいただきました。伊勢さんからはポリオの活動で多くの子どもたちのいのちが守られていることを発表いただき、貴重な体験によって人生観が大きく変わったとのご報告をされました。その後、次年度導入する「地区補助金申請報告システム」の概要説明を補助金委員会の木村委員長よりおこない、地区補助金事業の事例発表は加茂ロータリークラブ様の引きこもりがちな独居老人を1日ドライブにお誘いして、参加者同士の交流やロータリー活動への理解を促進する「さわやかドライブ」のご報告をいただきました。また、補助金委員会の今井副委員長よりグローバル補助の概要を説明の後、新発田ロータリークラブ様よりタイ大国 チャロエンクルンプラチャラク病院への急速低体温導入装置寄付事業のご報告いただきました。また、奨学金・学友会・VTT 委員会大竹委員長より概要説明があり、グローバル補助金奨学生の田中悠さんより動画メッセージをいただきました。最後に資金管理委員会本保委員長より資金管理の注意事項を参加者にお願ひし、質疑応答でセミナーを終了させていただきました。新年度に入り、各クラブとも活動のリソースである補助金で意義ある活動が実施されることと存じます。今年も各地にロータリーの奉仕実績の花が咲き誇りますように財団委員会としてこころより願っています。





## 第 2560 地区 2024-25 年度 7 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	7月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	/	-	377	385	44	8
新発田	4	31.5%	87	89	1	2
村上	4	21.1%	38	40	9	2
水原	4	26.5%	33	34	2	1
中条	4	94.0%	49	50	3	1
新発田城南	4	23.1%	39	40	6	1
豊栄	3	26.1%	23	23	2	0
新発田中央	5	9.1%	43	44	6	1
中条胎内	4	48.7%	39	39	9	0
村上岩船	3	30.8%	26	26	6	0
第2分区 (9クラブ)	/	-	447	454	31	7
新潟	5	32.5%	78	80	3	2
新潟東	4	17.5%	62	63	7	1
新潟南	5	36.2%	113	116	8	3
佐渡	3	75.0%	4	4	0	0
新潟西	4	37.7%	52	53	3	1
佐渡南	4	13.2%	38	38	3	0
新潟北	4	32.4%	37	37	1	0
新潟中央	4	34.8%	23	23	0	0
新潟万代	4	57.5%	40	40	6	0
第3分区 (5クラブ)	/	-	94	97	8	3
新津	4	26.7%	15	15	1	0
村松	4	52.9%	15	16	1	1
白根	4	27.3%	31	33	2	2
新津中央	4	37.0%	27	27	4	0
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区 (11クラブ)	/	-	354	358	29	4
三条	5	12.7%	54	55	0	1
燕	3	7.0%	42	43	3	1
加茂	3	10.3%	29	29	4	0
三条南	4	23.1%	37	39	3	2
分水	4	70.0%	30	30	4	0
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.2%	24	24	3	0
三条北	4	13.5%	52	52	3	0
巻	3	7.7%	26	26	2	0
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	3	20.6%	34	34	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	7月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	/	-	297	300	30	2
長岡	2	65.3%	47	49	5	2
柏崎	3	2.2%	45	46	0	0
長岡東	3	26.7%	60	60	9	0
柏崎東	3	19.5%	41	41	2	0
栃尾	4	20.0%	20	20	1	0
長岡西	3	20.4%	49	49	3	0
柏崎中央	4	28.6%	35	35	10	0
第6分区 (6クラブ)	/	-	114	122	10	8
十日町	3	22.9%	28	35	6	7
小千谷	4	14.8%	27	27	2	0
雪国魚沼	4	19.2%	26	26	2	0
十日町北	2	0.0%	10	11	0	1
津南	4	28.6%	15	15	0	0
越後魚沼	4	25.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	/	-	303	308	20	5
高田	3	36.8%	67	68	4	1
直江津	3	35.6%	72	73	6	1
新井妙高	3	17.1%	34	36	1	2
糸魚川	4	90.7%	43	43	3	0
高田東	4	57.1%	33	34	2	1
糸魚川中央	4	51.9%	26	27	0	1
越後春日山	3	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
7月末会員数	2,024 人
女性会員数	172 人
純増減会員数	38 人
My Rotaryアカウント登録率	30.5 %

※ 6 月末会員数の訂正  
 雪国魚沼 RC 26 人 (うち女性 3 人) ⇒ 26 人 (うち女性 2 人)  
 高田 RC 75 人 (うち女性 5 人) ⇒ 67 人 (うち女性 4 人)  
 第 2560 地区 1,988 人 (うち女性 168 人) ⇒  
 1,983 人 (うち女性 166 人)

## 地区主要行事予定

2024年8月26日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2024年 (R6) 南雲年度	9月	基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間			
		1	(日)	Pre-GELS	パシフィコ横浜
		2~3	(月~火)	第1回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #1)	パシフィコ横浜 会議センター
		2	(月)	公式訪問 ①新発田RC	割烹 志まや
		3	(火)	公式訪問 ①水原RC・豊栄RC	割烹 町北幸
		4	(水)	次年度地区ラーニングファシリテーターのためのセミナー (DLFS)	パシフィコ横浜 会議センター
		7	(土)	第2分区IM (山崎G補佐・新潟北)	新潟東映ホテル
		7	(土)	第4分区IM (杉山G補佐・三条)	ジオ・ワールドVIP
		7	(土)	第5分区IM (阿部G補佐・柏崎東)	柏崎市産業文化会館
		7	(土)	国際奉仕フォーラム(短期派遣学生帰国報告会)	長岡グランドホテル
		8	(日)	第3回全国RYLA委員長会議	AP八重洲+ZOOM
		10	(火)	公式訪問 ③新津中央RC	割烹 一楽
		14	(土)	第3分区IM (金子G補佐・村松)	割烹 松の家
		18	(水)	公式訪問 ⑤柏崎RC・柏崎東RC・柏崎中央RC	産業文化会館
		19	(木)	公式訪問 ③白根RC	サルナート
		21	(土)	三年度三役会議・地区諮問委員会・室賀年度結団式	サルナート
		24	(火)	南雲年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第1~3分区)	長岡カントリー倶楽部
		25	(水)	南雲年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第4~7分区)	長岡カントリー倶楽部
		26	(木)	公式訪問 ⑦糸魚川IRC・糸魚川中央RC (夜例会)	ヒスイ王国館
		28	(土)	第6分区IM (吉田G補佐・十日町)・公式訪問 (第6分区全クラブ)	あてま高原リゾート ベルナティオ
	28	(土)	新発田中央RC創立30周年記念式典	月岡温泉 白玉の湯 華鳳	
	10月	地域社会の経済発展月間・米山月間			
		1	(火)	公式訪問 ⑤長岡RC・栃尾RC	長岡グランドホテル
		2	(水)	公式訪問 ⑤長岡東RC・長岡西RC	ホテルニューオータニ長岡
		3	(木)	公式訪問 ④三条RC・加茂RC・三条南RC・田上あじさいRC	ジオ・ワールドVIP
		5	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
		6	(日)	全国危機管理委員長会議	AP日本橋
		8	(火)	公式訪問 ④見附RC・三条北RC・三条東RC	ジオ・ワールドVIP
		9	(水)	公式訪問 ①新発田中央RC	割烹 志まや
		10	(木)	公式訪問 ④燕RC・分水RC・吉田RC・巻RC	燕三条ワシントンホテル
		12	(土)	第1分区IM (風間G補佐・豊栄)	月岡温泉 ホテル清風苑
		12	(土)	第7分区IM (和泉G補佐・新井妙高)	デュオ・セレソン
16		(水)	公式訪問 ③新津RC	割烹 榊形屋	
19	(土)	南雲年度 地区大会1日目 / RI会長代理歓迎晩餐会	長岡グランドホテル		
20	(日)	南雲年度 地区大会2日目	アオーレ長岡		
24	(木)	公式訪問 ①村上RC・村上岩船RC	大観荘せなみの湯		

**【新入会員】**

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟北	若 秀明	2024.07.01	明治安田生命保険(相)新潟支社 新潟西営業所	営業所長	保険業
村松	関谷 まどか	2024.07.02	(資) MoKaReパールケロベロス	代表	バー
中条	佐藤 佳照	2024.07.03	ときや旅館	店主	旅館
新潟西	佐藤 嘉昭	2024.07.04	KANOA (株)	代表取締役	不動産業
白根	関 陸夫	2024.07.04	セキサーマル(株)	代表取締役	金属熱処理
白根	田 新	2024.07.04	スナック アリス	店主	飲食業
新潟東	佐々木 健一	2024.07.05	第一建設工業(株)	新潟支店長	総合建設業
高田	赤須 義洋	2024.07.05	(株)八十二銀行高田支店	支店長	産業銀行
三条南	田村 隆雄	2024.07.08	三条信用金庫	常務理事	信用金庫
三条南	江花 正高	2024.07.08	第一生命保険(株)三条営業オフィス	営業部長	保険業
高田東	尾崎 正弘	2024.07.08	オブビート	代表	不動産賃貸業
高田東	佐々木 悟	2024.07.08	(株)ササキ商事		除雪及び運送業
新潟	高橋 英敏	2024.07.09	ダイダン(株)	新潟支店	建設設備工事
村上	木村 太一	2024.07.11	第一生命保険(株)新潟支社村上営業オフィス	オフィス長	生命保険
新潟	廣田 徹	2024.07.16	(株)第四北越銀行	専務執行役員本店営業部長兼新潟支店長、新潟空港出張所長	商業銀行
新潟南	吉川 徹	2024.07.17	(株)新潟テレビ21	常務取締役	テレビ放送業
新潟南	金井 寛幸	2024.07.17	(株)太陽サポート	専務取締役	医療コンサルタント
新潟南	五十嵐 達也	2024.07.17	(株)遠山熔接	代表取締役	総合建設業
柏崎	田邊 裕治	2024.07.17	新潟工科大学	学長	大学学長
村上	高杉 忠則	2024.07.18	東北電力ネットワーク(株)村上電力センター	所長	電力供給業
新潟	桜井 広利	2024.07.30	JAバンク新潟県信連	代表理事専務	農林水産金融
新井妙高	山川 恵介	2024.07.31	有限会社ヤマカワオート	代表取締役	自動車販売
村松	木間 淳	2024.08.01	木間(株)	代表取締役	建築内装仕上
直江津	勝島 均	2024.08.01	(株)上越タイムス社	常務取締役	新聞発行
高田東	池田 徹	2024.08.05	(株)上越タイムス社	常務取締役編集局長	ニュースサービス



「クラブが個性を保持しつつ成長していくには？」

### 第3地域 ロータリーコーディネーター 中川 基成（あすかRC）

いかなる組織も結成されて時間が経過すると、その組織の理念のもとに積み重ねられた歴史や人間関係を通じて独自の組織風土ができあがり、やがてそれが組織の個性となっていきます。

魅力的で良き個性はその組織を支え成長させる原動力にもなります。言い換えれば、組織において個性と成長は両立もしくは連動していくといってもよいでしょう。

ロータリークラブも同様に各クラブにはそれぞれの個性があります。しかし、残念ながらクラブ独自の個性があっても、成長できないでいるクラブも多くあります。クラブに出来上がった個性は簡単に捨てることや変えることは難しいですが、誰から見ても魅力的な個性に高めていく努力はクラブの成長のためには必要であります。

では、ロータリーにおける魅力的で良き個性とは、如何なるものでしょうか？

まずは、ロータリーの奉仕の理念に集った会員諸氏が、5つの中核的価値観 即ち奉仕、親睦、リーダーシップ、多様性、高潔性をしっかりと堅持して会員同士が互いに学び合うことです。

また、一部の会員だけではなく、できるだけ多くの会員がクラブの奉仕活動に参加行動することによって一体感が醸成され、そのクラブの魅力が生まれて、より良き個性が育っていくものと思います。

自クラブに対する客観的考察の第一歩として、クラブの会員全員に対して会員満足度調査(My Rotary にひな形あります)をお勧めします。それをもとに会員同士でクラブの現状と将来についてお互いの率直な意見交換をしていくことが、クラブの成長への第一歩を踏み出す契機になると思います。

さらにクラブ活性化の重要なキーポイントは、行動計画(Action Plan)の推進であります。

行動計画に沿ってクラブが3年目標(3-Year Rolling Goals)を設定するネライは次の3点であります。

1. 継続性があること 2. シンプルで整合性があること 3. 地域適応力があること

是非、ロータリーの行動計画にある4つの優先事項に基づいて、自クラブの振り返りと新たな取組によってクラブの活性化を図ることが強く望まれます。

( 4つの優先事項： ・より大きなインパクトをもたらす ・参加者の基盤を広げる  
・参加者の積極的なかわりを促す ・適応力を高める )

ロータリーでは年齢や経験を問わず、様々なプログラムの奉仕活動やラーニングをつうじて、人生を学び成長する機会を得ることができます。それがロータリーのかげがえのない魅力となって、クラブが成長し、質・量ともなった会員増強につながっていくものと確信いたします。





DEIと Belonging

## 第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博（七尾 RC）

7月26日に開幕したパリオリンピックは、多くの感動を私たちに与えてくれました。特に開会式は、某新聞の見出しを借りれば、まさに「寛容な社会」を訴えるメッセージ性の高いものでした。

Diversity 多様性を Equity 公平に Inclusion インクルージョンすること、すなわち、紛争と分断の時代だからこそ、「多様性のある人々を等しく一人残さず受け入れる寛容さ」を求めたものだったと言えるのではないのでしょうか。そんな意味で、ロータリーの DEI は世界における社会活動の潮流の先端にある考え方と言っていいでしょう。

さて、皆さまが愛読している(はずの)雑誌、『ロータリーの友』は国際ロータリーの地域公式雑誌として、紙媒体でも届けられますが、電子版アーカイブとして、私たちは最新号からバックナンバーまでを見ることができます。そして、私は、毎年、考え抜かれた配色で表紙に RI 会長が登場する 7月号を楽しみにしています。それは、7月号の RI 指定記事(全世界共通記事)である会長メッセージとカバーストーリーに、その年度のリーダーが何を一番言いたいのかが出てくるからなのです。これは各地区のガバナー月信第1号の7月号のガバナーメッセージも然りかもしれません。

メンタルヘルスを強調したゴードン R. マッキナリー2023-24年度 RI 会長の第一声は、「ロータリーは会員と世界の人々のために動き、恒久的な平和を築くために尽力し、全ての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。」でした。そして、ステファニー A. アーチック 2024-25年度 RI 会長の第一声は「ロータリーが本領を発揮できるのは、クラブでインクルージョンと帰属意識が育まれたときです。実際、帰属意識こそが「ロータリーのマジック」そのものと言っても過言ではありません。インクルージョンと帰属意識に焦点を当てれば、共通の目的のために人々は結束しやすくなります。」です。

お二人とも、インクルージョンと帰属意識 Belonging を強調したことは偶然ではないと思います。会員数の漸減に悩むロータリーにとって、多様な仲間を受け入れ Inclusion、会員の帰属意識を育むことこそ、退会防止につながるからです。

なぜ、ロータリーに帰属しているのか？一人ひとりの会員に、会員の数だけの理由とストーリーがあるはずで、そのストーリーのための奉仕活動や親睦活動があるはずで、そして、そのストーリーを外部や内部に広報することで、ロータリーの公共イメージが向上し、より強い帰属意識が涵養されるのではないのでしょうか。





EMGAとして

## 第1地域 恒久基金・大口寄付アドバイザー 細川 吉博（帯広北 RC）

ロータリー財団の使命は『ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること』とされています。1917年に発足した財団はそれから100年以上に渡り世界中で積極的に活動してきました。1905年発足の国際ロータリーも行動計画を定め、四つの優先事項を柱とする計画を立て、その時代の必要とする事項に適應するようにしてきました。しかし現在、世界の各地で今なお紛争や自然災害が発生している状況が続いています。さらに驚異的に減少したとしてもなお命の危険に晒されるポリオの発生も存在します。



その様な状況だからこそ、私たちロータリアンはグローバルな視点を持って平和や災害の分野に積極的に目を向ける必要があるのではないのでしょうか。年次基金や恒久基金、ロータリー災害救援基金そしてポリオプラス基金、グローバル補助金への寄付について、その意義をご理解頂き、ぜひ積極的にご寄付していただきたく思います。特に恒久基金につきましては、その寄付が将来にわたって末永くロータリー活動を支えることを目的に、元金を使用せず、投資に運用し、運用益のみが使用されます。その運用益の使われ方では寄付者が希望する分野を指定することもできます。ロータリー財団の2025年までに20億2500万ドルの恒久基金（一部誓約を含む）の目標はロータリーの活動を将来にわたり安定的に活性化していくものになると考えています。私たちひとりひとりの寄付や活動は小さく、まさに水滴が水面に落ちて広がる輪の様なものですが、その輪が集まることで大きな波に、そして世界では大きなうねりになるのではないのでしょうか。是非ロータリアンの方でそのうねりを起こしましょう。

ロータリーでの「二つの公式標語」、「四つのテスト」を信念として活動することは、真のロータリアンとして私たちを社会人として鍛え、成長させてくれます。この精神的に鍛錬する場を多くの人に広めて、より良い世界を実現していく必要があります。そのためにもロータリーのイメージ向上が必要です。ロータリー活動を活性化することは平和な世界を築くことにつながると信じています。

今年度はメジャードナー、アーチ・クラフ・ソサエティ(AKS)など認証された方の顕彰行事を計画しています。ご自身の成長の証としてそれぞれのレベルでの認証を目指していただければ幸いです。どうか恒久基金・大口寄付アドバイザーの私たち3名を活用していただけますようお願いいたします。



## 1 モンゴル米山学友会 創立 10 周年記念式典開催

7月20日、モンゴル米山学友会の創立10周年記念式典がウランバートルホテルにて開催されました。会場には、モンゴル出身の米山学友のみならず、韓国米山学友会



会長の朴在泳さん(1995-97/仙台泉RC)など、海外からも米山学友が出席。日本からは、当会の小沢一彦名誉理事長、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、田中久夫常務理事をはじめ、数十人のロータリー会員が出席しました。来賓としてモンゴル国文部大臣、日本国の井川原 賢駐モンゴル特命全権大使が出席されるなど、会場には総勢140人が集まりました。

当日の式典では、2022年から同学友会会長を務めたセデバザル ウドワルさん(2010-12/下野上三川RC)が退任し、新たにバンバット



トゥメンデルゲルさん(2014-15/大阪東RC)が7代目の会長に選任され、その就任式が執り行われました。続く分科会では、3つに分かれ米

山学友や日本のロータリー会員が卓話を披露。その後、最後のプログラムとして、華やかな祝賀会で締めくくりとなりました。



翌日は参加希望者に向けた遊牧民・大草原体験プログラムが開催され、テレルジ国立公園内での乗馬体験や、民族コンサート鑑賞などが開催され、モンゴルの文化を体験しました。

これまでに日本の数多くのクラブと協力し、モンゴル図書館プロジェクトによる図書室設立や、医療機関への寄付・医療機器寄贈など、多数の奉仕活動を行っている同学友会の今後のさらなる活躍に注目です。

## 2 2025 学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で586キャンパス(前年度563キャンパス)。指定校からの被推薦者数は1,909人(同1,789人)で、この中から新規奨学生約700人が選ばれます。今回、初指定校は15校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区

奨励奨学金は、13地区(同14地区)38校(同39校)となりました。当会からは8月6日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

### 3 寄付金速報 — 2024-25年度の始まりは? —

前年同期比

- 31.4%

普 - 2.9% 特 - 58.9%

2024 - 25 年度の最初の月となる7月末までの寄付金は約 2 億 1,300 万円でした。前年同期と比べて約 31.4% 減（普通寄付金: 2.9% 減、特別寄付

金: 58.9% 減）、約 9,700 万円の減額となりました。1 億円近くの減額となったのは、前年度の初めに同額の高額寄付をいただいたことが影響しています。

ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 4 ベトナム南米山学友会 第 1 期総会開催

7 月 28 日、ベトナム南米山学友会の第 1 期総会がハイブリッド開催されました。当会の駒井英基常務理事が参加したほか、日本からも 6 人のロータリー会員が出席。また、ベトナム出身の米山学友約 20 人に加え、タイ米山学友会会長のペチニン ナレスさん（1994-96/越谷 RC）、韓国米山学友会会長の朴在泳さん、第 2580 地区米山学友会会長の楊子明さん（2002-03/東京新橋 RC）らの学友が参加しました。

総会では、ホーライフーン会長（1973-75/桐生西 RC）の挨拶に続き、会計・活動報告が

行われました。同学友会では日本の多くのクラブと協働し、奉仕・交流活動を行っており、児童養護施設への物資寄贈など、さまざまな奉仕活動が報告されました。また、2016 年から行っているホーチミン市工科大学の学生への奨学金プロジェクトの支給対象者数は累計 23 人となり、この総会にも 5 人の奨学生が参加しました。

総会はすべて日本語で進行され、参加者には日頃からの支援への感謝が述べられ、心温まる総会となりました。

### 5 「再会 in 関東」実行委員会 寄付&復興ボランティア

昨年 8 月に茨城県つくば市で開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」実行委員会が、米山梅吉記念館への寄付、そして、能登半島地震で被災した学校へのスポーツ用具寄贈を行いました。

6 月 9 日、第 2590 地区米山奨学委員会主催の新規米山奨学生の米山梅吉記念館訪問にあわせて、「再会 in 関東」実行委員会メンバーの朴貞子さん（2006-08/岸和田 RC）、何玉翠さん（1987-89/奈良 RC）、崔玉芬さん（2007-08/大洗 RC）の 3 人で記念館を訪問。「再会 in 関東」実行委員会から記念館へ寄付金を贈呈しました。



贈呈式を行った朴さん(中央)、何さん(右から2人目)と崔さん(右)



スポーツ用具を寄贈した朴さんと陳さん(中央左)

そして7月12日、朴さんは第5代よねやま親善大使の陳瑤さん（2012-14/四日市東 RC）とともに石川県七尾市を訪問。七尾 RC の例会に出席した後、甚大な被害を受けた七尾市内の鵬学園高等学校を訪れ、スポーツ用具（バレーボールネット、バドミントンラケット等）の寄贈を行いました。13日は同市で復旧支援ボランティアとして、がれきの撤去・運搬作業に参加。自らの目で七尾市の現状を見た朴さんは「実際に作業をしてみると、まだ復興への道のりは非常に遠いと痛感させられました」と、述べました。